

Pichari ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより
第73号

ななえ古写真物語

VOL. 73

ななえと馬

馬匹改良事始め

明治10年ころ

本町周辺か？



nanae historical
museum collection

今年は午年なので、馬の話から始めるのも洒落があっというのかなと思ひ、この写真を紹介してみます。これは、明治初期に設置されていた「七重官園」で飼育されていた種牡馬（種付用の馬）を写したもので、木柱をくりぬいて横木を通すだけの簡単な作りの牧柵の奥で、職員に手綱をひかれている様子です。

七重官園は、西洋式農法を全国に普及するための施設ですが、農業だけ行ってきたわけでないことは、過去のピチャリでも、何度か触れてきました。実は、官園で行われていた馬匹改良事業は、西洋種の馬を用いた近代的なもので、こういった交配などによる本格的な馬匹改良が行われたのは、日本で初めてなのではないかと考えられています。

そして、その中心となったのは、日本のホースマンの始祖の一人といわれる函館大経という人物で、もともと小野儀三郎大経と名乗っていましたが、フランス式馬術を習得した後、天覧競馬で外国人騎手とのマッチレースを制したことがきっかけで、函館姓をもらったとも言われています。特に北海道では、馬術や競馬、馬の生産に貢献し、絹糸一本で馬を操ったなど、多くの逸話が残されている人物です。

さて、そんな函館大経を中心に七重官園では、明治5年にアメリカから「ブラツキプリンス」号という馬を購入し、先に飼育していた流星栗毛の馬とともに種牡馬とし、官園で飼育していた土産牝馬（ドサンコ）と交配させました。しかし、背ばかりが高い馬が多く、あまり良い結果が得られなかったため、大経は、南部地方から馬を買い付けて、土産馬の改良に着手するなどしました。このことが、北海道を馬産地と称させるほどまで、発展させていく原動力になったと推測します。

さらに、明治8年にはアメリカから御雇外国人のエドウィン・ダンが七重官園に赴任します。ダンは、馬の去勢術や西洋農器械の使用法などを伝え、七重を離れた後も、酪農の発展に多大な貢献をしたため「北海道酪農の父」とも称される人物です。一説によると、日本で初めて西洋チーズを試作した七重官園で、チーズ作りを教授したのが、エドウィン・ダンなのではないかといわれていますが、今のところ定かではありません。

このように、ななえにおける馬の歴史を辿ってみると、今は面影すらままならない七重官園の功績を垣間見ることが出来るのです。

4日

夜の博物館の後期講座ナナエガクがはじまりました。第1回目は「大沼観光史」についてです。古写真をスライドで紹介したり、当館資料の鳥瞰図や軸装された幻の線路路線図を見ながら、明治から昭和にかけて、大沼公園がどのように発展してきたのかを解説しました。初めての参加者も多かったのですが、楽しんでもらえたようでした。



1	土	ふぁみりーでいみゅーじあむ
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	夜の博物館
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	建国記念の日
12	水	
13	木	
14	金	
15	土	
16	日	七飯男爵太鼓創作会 企画舞台
17	月	
18	火	
19	水	
20	木	
21	金	
22	土	ジュニア探検クラブ
23	日	
24	月	
25	火	
26	水	
27	木	
28	金	

21日

ジュニア探検クラブ第9回講座を開催しました。午前中はそば打ちです！まずは、ベテランのそば打ち実演を見学して、その後、自分たちで打ちました。そば粉に少しずつ水をなじませていくのが、難しかったようですが、のしたり、包丁で切るのは、上手にできていました。さっそく茹でて食べましたが、おいしいとの声があり一安心です。午後からは、臼と杵を使って、餅つきをしました。力強い音が館内に響き渡り、つきたての餅は、みんなで分けて試食しました。のびまくる餅に舌鼓しながら、今年の締めくくりは、食べまくりな1日でしたね。



22日

ふぁみりーでいみゅーじあむでも、臼と杵を使って餅つきをしました。まずは、餅つきのベテランから、昔はこういう風に餅をついたんだよ！という体験談を話して頂き、蒸かしあがったもち米をちょっとつまみ食いしながら、餅つき開始です。ちょっと杵が重かったようですが、頑張りました。餅にあんこをくるんで、いただきます！！おいしかったかな？



※2月の休館日はありません。

和太鼓舞台のお知らせ

2月16日(日) 15:00から2回にわたって、当館常設展示室において、七飯男爵太鼓創作会さんによる企画舞台があります。和太鼓の迫力ある演奏と朗読によって構成される独特の世界が、きっと皆さんを魅了することと思います。興味のある方は、直接、男爵太鼓創作会まで(0138-46-1137事務局：今野)お問い合わせください。

編集後記 ~tawagoto~

新年明けましておめでとうございます。遅い挨拶ですが、今年も当館をよろしくお願ひいたします。さて、近頃ずいぶん寒いなと思い、暦をみたら、この号が発行される日は「大寒」でした。どおりで寒いはずですが、でも、一面に積もった雪が月夜に照らされてキラキラ輝いてみえたり、雪のギュギュっときしむ音など、感覚を研ぎすまして寒さを楽しむのもいいかもしれませんね。・・・むしろ、そう思わないと凍えそうです。(やまだひさし)

Richard

~ピチャリ~

第73号

平成26年1月20日 発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail: rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp